

◆ みちしるべ ◆

昭島市立拝島中学校

第3学年 進路だより No.3

令和6年 5月10日(金)

——高校説明会について

いくつかの高校からはすでに、学校説明会などの案内が届いています。“まだ受験校も決まっていけないのに、見に行ってもしかたがない”と思うかもしれませんが、受験の有無に関わらず、学校説明会や授業公開に出かけてみることに意味があります。特に、来年の進路のことが実感として感じられず、受験勉強に身が入らない、という人は行ってみるといいでしょう。来年の進路が具体的にイメージできるようになり、受験勉強にやる気が出るかもしれません。

保護者の皆さまにも同じことが言えます。“親として関わる初めての進路選択”という場合には学校説明会に参加することで、どんな支援をすればいいかが見えてくるでしょう。

今後もしろいろな高校から学校説明会や体験学習、授業公開などの案内が来ます。「みちしるべ」でお知らせすることもあります。基本的には自分で各クラスに掲示してある案内などをよく確認して、必要な情報を自分で手に入れられるように注意してください。

気になる高校がある場合には、その高校のホームページを見ることで、学校説明会などの日程と申し込み方法を調べることができます。なお、事前予約が必要な場合があるのでご注意ください。予約方法は学校それぞれで違いますので、ポスターやホームページで確認しましょう。

現在拝島中に来ている高校説明会など

あずさ第一高等学校 学校説明会 5月11日(土) 6月1日(土) 13:00～

都立瑞穂第五商業高校 学校見学会 6月15日(土) 9:30～ ※予約不要

都立瑞穂農芸高校 学校見学会 5月25日(土) 10:00～正午 午後13:30～15:30

都立多摩工科高校 学校見学会 5月12日(日) 10:00～12:00 6月15日(土)、7月6日(土)、
8月10日(祝)、8月24日(土)、9月28日(土) 体験実施

——この一年間の学習計画を立てよう

この一年間は、自分で自分の進路に正面から取り組む特別な一年間です。誰もが通って来た道。そして、誰もが苦労し、悩んだ道でもあります。しかし、嫌なことばかりを想像するのではなく、“自分という人間を磨く特別な一年にする”と心に決めて、忙しくて充実した一年にしましょう。

基礎を固める

個々の受験に対応する

本番！

基礎学力充実期

4・5・6月

- ・ 3年の範囲は授業で理解しきる
- ・ 1・2年の範囲を復習する
- ・ 重要事項の暗記
- ・ 基礎・基本の徹底

基礎学力定着期

7・8月

- ・ 3年の1学期、1・2年の復習を終わらせる
- ・ 苦手を減らす

応用力養成期

9・10・11月

- ・ 実力テストに参加する
- ・ 総合問題、過去問に取り組む
- ・ 得意不得意を明確にし、不得意の克服を目指す

総仕上げ期

12月～

- ・ 問題をたくさん解き、実践力をつける
- ・ 基礎基本の取りこぼしをなくす
- ・ 得意をのばし、不得意を縮小させる

裏面に続く

——中間考査までの過ごし方について

中間考査まであと1週間を切りました。3年生にとっては、1・2学期の定期考査4回のすべてが重要な意味を持ちます。しかし、受験生だからといって、勉強以外は全て頼りっぱなしという人、いませんか？ましてや「自分は受験生だから…」と、受験生であることを理由に面倒なことから逃げようとしていませんか？忘れないでください。皆さんは、受験生であると同時に、家族の一員、クラスの一員、そして、3学年の一員です。まずは日常の生活をきちんと送ることが大切です。自分に課せられた役割や責任を果たしながら、受験に立ち向かってください。

学習面でやるべきことは、表面でお伝えした通り。とは言え、部活動や習い事で忙しい人も多いでしょう。最後の夏（文化部的場合は、最後の秋？）に向けて、これまで頑張ってきたことも、悔いなくやり切ってほしいと先生たちは考えています。大切なのは、見通しと目標を持つことです。

——定期考査は今の自分を知るバロメーター

さて、というわけでいよいよ中間考査です。今から日々の生活を見直し、自分のできるところからコツコツ取り組み、必死になって頑張った人は、自分の希望する進路に少しでも近づくことができるはずです。

しかし、これまで積み重ねを怠って来た人は、次の中間考査では、自分のやる気のわりに、良い結果が得られないかもしれません。なぜなら、1学期の中間考査には、3年生になって新たに学習したことにプラスし、1・2年の復習内容が含まれている場合があるからです。これから頑張って、1・2年生の復習を始めようとしている人にとっては、うまくいなくて当然です。それよりも、「3年になったらがんばる！」と決めた「今の気持ち」を失わずに、冷静に結果を受け止めることです。

いまさらですが……

学用品の準備は基本中の基本

学用品の準備は、実力を出す以前の問題です。また、これは意外におろそかにできない問題でもあります。ある入試の受検票には、持ち物が書いてあります。

ある高校の受検票より

持ってくるもの

受検票、鉛筆、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、弁当、上ばき
なお、時計以外の機能を備えた時計、携帯電話などの通信機器の持ち込みは許可しない。

● シャーペンなら「芯」の用意と予備の準備

鉛筆が一番ですが、シャーペンを使う人は濃いめの芯（B以上）を使いましょう。予備の芯を必ず用意すること。

● 消しゴムは「良く消える」「十分な大きさ」のもの

もう小さくなってしまった消しゴムを試験当日に使うのは良くないです。普通のプラスチック消しゴムが一番。

● 三角定規・コンパスは使い慣れたもの

入試問題には必ず作図があります。入試の持ち物には直線定規とコンパスが必要。ない人は今のうちに購入し、使い慣れておくことが大切。

他人と比較して、他人が自分より優れていたとしても、それは恥ではない。

しかし、去年の自分より、今年の自分が優れていないのは、立派な恥だ。